

1. 現計画における将来像、基本理念の説明

- ・第4回会議のテーマに関する情報提供を行いました。

2. グループワーク 1 将来像を検討してみよう

- ・第5次幸手市総合振興計画の将来像を確認し、新たな計画の将来像に必要なキーワードや、踏まえるべき考え方について検討しました。
- ・グループワークは2班に分かれて行いました。

【主な検討結果】

＜現行の将来像について＞

- ・「都市」という表現は漠然としている
- ・「調和」の意味をもっと膨らますべきではないか
- ・「安心・安全」この言葉は平凡になりつつある

＜将来像の考え方・キーワード＞

- ・農・商・工のバランスの良いまちが住みよい
- ・商工業と農業との調和が必要
- ・桜をつかったキャッチフレーズ
- ・他とは違う個性を持っていることが表現できるとよい
- ・地名をアピール（幸手という地名は他にない）
- ・子ども・未来を考えたフレーズ
- ・住み続けたい、住みたい、住みやすい
- ・まちの「あたたかさ」
- ・人がつながる、輝けるまち

3. グループワーク2 基本理念を考えてみよう

- ・第5次幸手市総合振興計画の理念を確認し、新たな計画の理念に必要なキーワードや、踏まえるべき考え方について検討しました。

【主な検討結果】

- ・「幸手市らしさ」が理念としては分かりにくい
- ・「活力ある」という表現については、様々な意味が含まれる
- ・協働という言葉は一般に知られているのか？他の言葉が適切ではないか
- ・市民と行政が同じ目線であることが重要ではないか
- ・「できない」の先を考える市民
- ・市民が主体で行政はそのサポートをする
- ・今後も目指すべきものとして安心・安全は理念に残してはどうか
- ・「コンパクト」「活力」といった表現は良い



グループワークの様子



全体発表の様子